

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2017-7743

(P2017-7743A)

(43) 公開日 平成29年1月12日 (2017.1.12)

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード (参考)
B 6 5 D 51/24 (2006.01)	B 6 5 D 51/24	C 3 E 0 6 2
B 6 5 D 23/10 (2006.01)	B 6 5 D 23/10	Z 3 E 0 8 4

審査請求 有 請求項の数 17 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号	特願2016-121549 (P2016-121549)	(71) 出願人	591038831
(22) 出願日	平成28年6月20日 (2016. 6. 20)		ダート インダストリーズ インコーポレ
(31) 優先権主張番号	14/746, 965		イテッド
(32) 優先日	平成27年6月23日 (2015. 6. 23)		アメリカ合衆国 フロリダ州 3 2 8 3 7
(33) 優先権主張国	米国 (US)		オーランド サウス オレンジ ブロッ
			ソムトレイル 1 4 9 0 1
		(74) 代理人	100086771
			弁理士 西島 孝喜
		(74) 代理人	100088694
			弁理士 弟子丸 健
		(74) 代理人	100094569
			弁理士 田中 伸一郎
		(74) 代理人	100103609
			弁理士 井野 砂里

最終頁に続く

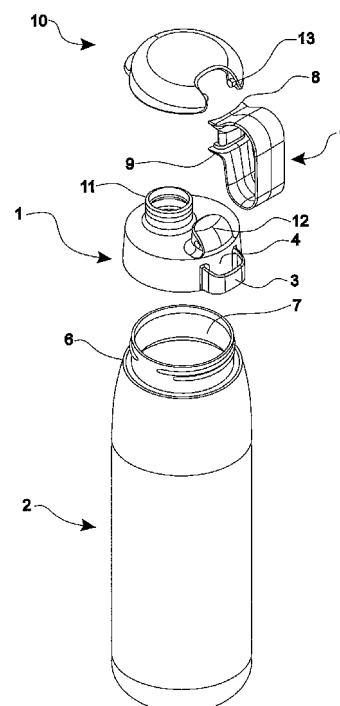
(54) 【発明の名称】 ボトルのような容器のためのキャップ

(57) 【要約】

【課題】 ボトルのような容器を閉じるために使用することができ、ユーザがボトルを把持するためのハンドルをもたらし改善されたキャップを提供すること。

【解決手段】 ボトルのような容器のためのキャップであって、このキャップは、容器の開放端部と実質的に流体密封シールを形成するためのシール部分と、キャップ上に又はこれと共に形成され、そこを通るアパーチャを有するブラケットと、アパーチャに受け入れられるか又はこれを通り、少なくとも1つがユーザにより把持されるハンドルを形成する少なくとも1つのタブ要素とを含む。

【選択図】 図2



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ボトルのような容器のためのキャップであって、
前記容器の開放端部と実質的に流体密封シールを形成するためのシール部分と、
前記キャップ上に又はこれと共に形成され、そこを通るアパーチャを有するブラケットと、
前記アパーチャに受け入れられるか又はこれを通り、少なくとも 1 つがユーザにより把持されるハンドルを形成する少なくとも 1 つのタブ要素と、
を含むことを特徴とするキャップ。

【請求項 2】

前記キャップは、前記アパーチャに受け入れられて前記ハンドルを形成する単一のタブ要素を含むことを特徴とする、請求項 1 に記載のタブ。

【請求項 3】

前記単一のタブ要素は、2 つの端部を有するループ構成を有し、前記ループの前記端部は前記アパーチャに受け入れられることを特徴とする、請求項 2 に記載のキャップ。

【請求項 4】

前記単一のタブ要素は、前記ループ構成に半永久的に成形される又は永久的に形成されることを特徴とする、請求項 3 に記載のキャップ。

【請求項 5】

前記単一のタブ要素は可撓性材料で形成され、前記タブ要素は実質的に平坦に形成されることを特徴とする、請求項 3 に記載のキャップ。

【請求項 6】

前記単一のタブ要素は、異なる材料厚の領域を有し、撓んだ場合、前記相対的に薄い領域は、前記相対的に厚い領域よりも多く撓み、それにより規定の形状が形成されることを特徴とする、請求項 5 に記載のキャップ。

【請求項 7】

前記ループの前記 2 つの端部は、互いに係合して相互接続を形成できることを特徴とする、請求項 3 に記載のキャップ。

【請求項 8】

前記ループの前記 2 つの端部はそれぞれ、互いに係合して前記端部を前記アパーチャ内に接合できる鋸歯面を含むことを特徴とする、請求項 7 に記載のキャップ。

【請求項 9】

第 1 及び第 2 のタブ要素を含み、各々の前記タブ要素は、互いに係合して互いにロックし、前記タブ要素を前記アパーチャ内に結合させる鋸歯面を含み、好ましくは、前記第 1 のタブ要素は、前記アパーチャのためのストッパを含むことを特徴とする、請求項 1 に記載のキャップ。

【請求項 10】

前記第 2 のタブ要素は、ハンドル、ストラップ、ループ、キーチェーン、歩数計、GPS デバイス、キーホルダー、エンブレム、フィギュア、又はマスコットから選択される取り付け具を含むことを特徴とする、請求項 9 に記載のキャップ。

【請求項 11】

前記シール部分は、前記容器の前記開放端部上に配置された対応するねじ山と適合するねじを形成するような大きさ及び構成にされたねじ山を含むことを特徴とする、請求項 1 に記載のキャップ。

【請求項 12】

前記シール部分は、前記容器の前記開放端部上の対応する領域と押込嵌めを形成するような大きさ及び構成にされた領域を含むことを特徴とする、請求項 1 に記載のキャップ。

【請求項 13】

前記キャップは、そこを流れて流体を送出するための注ぎ口をさらに含むことを特徴とする、請求項 1 に記載のキャップ。

10

20

30

40

50

【請求項 1 4】

前記キャップは、注ぎ口カバーをさらに含むことを特徴とする、請求項 1 3 に記載のキャップ。

【請求項 1 5】

前記注ぎ口カバーは、前記キャップにヒンジ式に取り付けられ、前記注ぎ口と締まり嵌めを形成して、前記注ぎ口を可逆的にシールし、シールされた位置にあるとき、前記注ぎ口を通る流体の通過を防止することを特徴とする、請求項 1 4 に記載のキャップ。

【請求項 1 6】

前記タブ要素又は各々のタブ要素は、前記アパーチャの前記開口部を実質的に閉じるような大きさ及び構成にされた当たり面を含むことを特徴とする、請求項 1 に記載のキャップ。

10

【請求項 1 7】

請求項 1 に記載のキャップを有するボトル。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、一般に、ボトルのような容器に関する。具体的には、本発明は、ボトルのような容器を閉じるために使用することができ、ユーザがボトルを把持するためのハンドルを提供する改善されたキャップに関する。

【背景技術】

20

【0002】

ボトルのような補充可能な容器は、当技術分野において公知である。かかるボトルには、未使用時にボトルを閉じた状態に保つための蓋又はキャップが設けられる。

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0003】

必要とされるのは、ユーザがボトルを保持するため、又はボトルを（例えば）バックパック若しくはリュックサックに取り付けるための快適で便利な方法を提供する、ボトルのための改善されたキャップである。

【課題を解決するための手段】

30

【0004】

本発明によると、ボトルのような容器のためのキャップが提供され、このキャップは、容器の開放端部と実質的に流体密封シールを形成するためのシール部分と、キャップ上に又はこれと共に形成され、そこを通るアパーチャを有するブラケットと、アパーチャに受け入れられるか又はこれを貫通し、少なくとも 1 つがユーザにより把持されるハンドルを形成する少なくとも 1 つのタブ要素とを含む。

【0005】

好都合には、キャップは、アパーチャに受け入れられて、ハンドルを形成する単一のタブ要素を含む。

好都合には、単一のタブ要素は、2 つの端部を有するループ構成を有し、ループの端部は、アパーチャに受け入れられる。

40

【0006】

単一のタブ要素は、ループ構成に半永久的に成形される又は永久的に形成されることが好ましい。

代替的に、単一のタブ要素は可撓性材料で形成され、タブ要素は実質的に平坦に形成される。

【0007】

好都合には、単一のタブ要素は、異なる材料厚の領域を有し、撓んだ場合、相対的に薄い領域は、相対的に厚い領域よりも多く撓み、それにより規定の形状が形成される。

好都合には、ループの 2 つの端部は、互いに係合して相互結合を形成することができる

50

。

【0008】

ループの2つの端部はそれぞれ、互いにロックして端部をアパーチャ内に接合する鋸歯面を含むことが好ましい。

好都合には、キャップは、第1及び第2のタブ要素を含み、各々のタブ要素は、互いに係合して互いにロックし、タブ要素をアパーチャ内に結合させる鋸歯面を含む。第1のタブ要素は、アパーチャのためのストッパを含むことができる。

【0009】

第2の要素は、ハンドル、ストラップ、ループ、キーチェーン、歩数計、GPSデバイス、キーホルダー、エンブレム、フィギュアリン、又はマスコットから選択される取り付け具を含むことが好ましい。

好都合には、シール部分は、容器の開放端部上に配置された対応するねじ山と適合するねじを形成するような大きさ及び構成にされたねじ山を含む。

【0010】

代替的に、シール部分は、容器の開放端部上の対応する領域と押込嵌めを形成するような大きさ及び構成にされた領域を含む。

キャップは、そこを通して流体を送出するための注ぎ口をさらに含むことが好ましい。

【0011】

好都合には、キャップは、注ぎ口カバーをさらに含む。

注ぎ口カバーは、キャップにヒンジで取り付けられ、注ぎ口と締め込みを形成して、注ぎ口を可逆的にシールし、シールされた位置にある場合、注ぎ口を通る流体の通過を防止することが好ましい。

【0012】

好都合には、タブ要素又は各々のタブ要素は、アパーチャの開口部を実質的に閉じるような大きさ及び構成にされた当たり面を含む。

本発明はまた、本明細書で説明されたような本発明によるキャップを有するボトルも提供する。

【0013】

上述の本発明の目的及び特徴は、同じ参照番号が同じ要素を示す図面を参照して、より詳細に説明される。

【図面の簡単な説明】

【0014】

【図1】ボトルに取り付けられた、本発明によるキャップの1つの実施形態の斜視図である。

【図2】図1のキャップ及びボトルの展開図である。

【図3】ボトルに取り付けられた、本発明の1つの実施形態によるキャップの側面図である。

【図4】図3に示される本発明のキャップ及びボトルを通る断面である。

【図5】図4の線「C」に沿った詳細な側断面図である。

【図6】本発明の更に別の実施形態によるキャップを通る断面の詳細な斜視図である。

【発明を実施するための形態】

【0015】

図1を参照すると、ボトルのような容器のためのキャップは、全体が参照番号1で示される。図示される実施形態において、キャップは、適切なボトル2に取り付けられる。ボトルは、ポリカーボネートのようなプラスチック材料から製造され、かつ、325ml、500ml、750ml、1リットル、1.5リットル、又は2リットルのような容積を有する、当技術分野において公知のタイプのものとする事ができる。図示されるボトルは、構成において、閉じた底部、開いた上部及びネック領域7を有する略円筒形である。しかしながら、矩形のボトルのような他のボトル形状も考えられる。図示のように、この実施形態における本発明のキャップ1は、カバー10を含み、カバー10は、以下に詳細に

説明する。

【0016】

本発明によるキャップ1は、キャップ1から半径方向外方に延びるブラケット3を備え、図示のように略垂直に延びるアパーチャ、すなわちアパーチャ4を提供する（図2を参照されたい）。アパーチャ4は、上部開口部及び下部開口部、並びにそこを通る通路を有する。

【0017】

図2に最も良く示されるように、ボトル2のネック部分7には、ねじ山6が設けられる。当業者には理解されるように、ボトル2上のねじ山6は、キャップ1の内面上の対応するねじ山（図示せず）と嵌まり合うように意図され、それにより、ボトル2とキャップ1との間に実質的に流体密封接続が形成される。本明細書ではねじ山が示されるが、ねじ接続のような可逆的接続が好ましいとはいえ、キャップとボトルとの間の押込嵌め（締まり嵌め）又は当技術分野において公知のタイプのスナップ嵌めのような他の形態の接続が、本発明により考えられることを理解されたい。

【0018】

示されるように、ねじ山6を有するボトル2のネック7は、ボトルの全幅と比べて、比較的幅広である。比較的幅広のネック7は、ボトルを容易に補充することも、空にする（内容物を注ぎ出す）ことも可能であることを意味する。円筒形のボトル2が示されるが、実際には、ボトルは、例えば矩形などの任意の形状をとることができる。しかしながら、キャップ1へのねじ込み式接続が用いられる場合、ボトルは、少なくとも、ねじ-ねじ山領域において円形断面を有し、回転を可能にする必要がある。

【0019】

さらに図2を参照すると、本発明におけるタブ要素は、全体が参照番号5で示される。図2に示されるように、明確にするためだけに、タブ要素5は、キャップ1から外に分解されている。しかしながら、図1、図3及び図4に示されるように、使用中、タブ要素5は、ブラケット3のアパーチャ4内に配置される。例えば図1から明らかなように、タブ要素5は、ユーザがボトル及びキャップ組立体を把持するための、ループの形態のハンドルを提供する。さらに、ハンドルのループ構成により、ボトル及びキャップ組立体を、例えばカラビナ又は他の取り付け具によって、バックパック又はリュックサックのような別の物体に取り付けることが可能になる。

【0020】

本発明の1つの実施形態において、キャップは、ハンドルを形成する単一のタブ要素5を含む。キャップ1の組み立ての際、エラストマー材料で製造することができるタブ要素5は、ブラケット3のアパーチャ4に挿入される。実際には、図4及び図5に詳細に示されるように、タブ要素5は、2つの端部5a及び5bを有する単一部品である。2つの端部5a及び5bはそれぞれ、その表面が互いに適合する鋸歯構成を有する表面を呈する。使用中、タブ要素5の2つの端部5a及び5bは、対向するアパーチャの開放端部において、どちらもアパーチャ4に挿入され、鋸歯面が互いに接触すると（図5を特に参照されたい）、タブ要素5の2つの端部5a及び5bが互いにロックする。ひとたび形成されると、端部5aと5bとの間の接続が不可逆的であることが好ましく、ハンドルがキャップから偶発的に取り除かれることも、又はユーザにより取り外されることもなくなる。

【0021】

図2に見られるように、タブ要素5には、当たり面8及び9が設けられる。これらの当たり面は、大きすぎてブラケット3のアパーチャ4を通して挿入できないような大きさ及び構成にされている。従って、前段落で説明したように、タブ要素5がブラケット3に接続されると、当たり面8及び9は、それぞれ、タブ要素5をアパーチャ4に挿入できる分量の上端及び下端を提供する。

【0022】

さらに、当たり面8及び9は、それぞれ、アパーチャへの開口部を閉じるための上部カバー及び下部カバーを提供し、これにより、埃の侵入が防止され、好ましくは、タブ端部

10

20

30

40

50

5 aと5 bとの間の接続が視覚的に覆い隠される。

【0023】

タブ要素5を参照すると、製造時に、これは、弾性又は可撓性材料から平坦な構成で成形することができ、好ましくは、対応する厚さの薄い領域よりも耐曲げ性の、材料厚の比較的増大した領域を有する。従って、このように平坦に成形されたタブ要素5が曲げられると、材料の比較的厚い領域及び薄い領域の位置に応じて、特定の湾曲形状のタブ要素5が形成される。使用中、平坦なタブ要素5は、タブ要素の端部5 a及び5 bがアパーチャ内で交わり、既述のように接続を形成するまで曲げられる。

【0024】

代替的に、製造において、タブ端部5 a及び5 bをアパーチャ4内に配置できるように、タブ要素5が依然として十分に可撓性である必要があるが、実質的にその最終的に意図した曲率を既に有するように、タブ要素5を成形することもできる。例えば図2、図4及び図5に示され、容易に分かるように、接続を行うタブ端部5 a及び5 bは、好ましくは実質的に平坦でなければならない。このことは、湾曲構成に比べて、鋸歯面の間の接続がより良好で確実にする。

【0025】

ここで、図示される図1及び図2を参照すると、本発明のこの実施形態によるキャップ1は、注ぎ口11及びカバー10も含む。従って、本発明のこの実施形態において、キャップ1を取り外すことなく(例えば、示される実施形態において、回して外すことにより)、ボトル2内に収容される液体を、注ぎ口11を通して直接ユーザに送出することができる。これは、ユーザが、ボトル2の内容物にアクセスするために、キャップ1を繰り返し回して外すことを回避することを好む場合、本発明のキャップ1を、例えばスポーツドリンク用ボトルの閉鎖部として使用できることを意味する。この実施形態におけるカバー10は、ヒンジ構成12によってキャップ1に取り付けられ、ヒンジ構成において、突起部13はヒンジ12のアパーチャ内に係合できるので、カバー10を注ぎ口11まで回転して外すことができる。

【0026】

代替的に、図示されていないが、注ぎ口、カバー及びヒンジが存在せず、本発明のキャップ1が、例えば、ねじ山6によって上述の方法で単にボトル2を閉じてよい。この実施形態において、ユーザは、ボトル2の内容物にアクセスする前にキャップ1を完全に取り外す必要がある。本発明によるこの種のキャップは、例えば、スポーツ用ボトルとは違って、ボトルの内容物に即時にアクセスすることを必ずしも必要としない、冷蔵庫又はオフィス若しくは会議環境における液体の貯蔵に適し得る。代わりに、例えば、ユーザは、ボトル2からキャップ1を回して外し、内容物をコップに注ぐことができる。しかしながら、示される本発明のこの実施形態は、依然として、本明細書で説明されるようなブラケット3、アパーチャ4及びタブ要素5を含む。

【0027】

図1～図5にこれまで示したように、単一のタブ要素5は、互いに係合して単一の一体のハンドルを形成する端部5 a及び5 bを有する。しかしながら、図6に示される代替的な実施形態においては、各々が上述のものと同一鋸歯面及び当たり面を有し、どちらも既述のようにブラケット3のアパーチャ4内で互いに接続される2つの別個のタブ50及び51を提供することも可能である。示されるように、下部タブ50は、単に、鋸歯面50 a及び当たり面52しか含まない。当たり面52は、上述のものと全く同じ機能を果たし、すなわち、アパーチャ4の下部開口部を閉じ、タブ50をアパーチャ4に挿入できる量の制限を与える。上部タブ51もまた、既述のように表面50 aとの係合のための鋸歯面51 aを含む。同様に、タブ51は、アパーチャ4の上部開口部を閉じるための当たり面53を含む。

【0028】

図6に示されるように、下部タブ50は、当たり面52しか含まないので、アパーチャ4のためのストッパの機能だけを果たす。しかしながら、上部タブ51は、タブ51に対

10

20

30

40

50

する何らかの形態の取り付け部を含む。この取り付け具は、ユーザがボトルを把持するため又はボトル及びキャップをバックパックのような何か他のものに取り付けるためのハンドル、ストラップ、又はループとすることができる。代替的に、取り付け具はさらに、GPSデバイス、キーホルダー、歩数計、又はエンブレム（例えば、スポーツチームに関する）若しくはマスコット（例えば、小型フィギュア）を含む物体のような、更に別の物体若しくはデバイスとすることができる。タブ51と更に別の物体との間の接続は、直接的なものでなくてもよい。例えば、タブ51は、単に、GPSデバイスへの取り付けのためループ又はカラビナを備えていてもよい。

【0029】

当業者であれば認識するように、上部タブ51及び下部タブ50の位置を逆にし、ストップがアパーチャ4の上部開口部を閉鎖し、取り付け具がアパーチャ4の下部開口部に取り付けられることも可能である。

10

【0030】

さらに代替的に、更に別の実施形態（図示せず）において、各々のタブ50及び51は、上述した取り付け具から選択される、何らかの形態の取り付け具を含むこと、又はそれに取り付けることができる。純粹に例として、提供される2つのタブの一方は、ハンドル又はストラップとし、タブの他方は、エンブレムとすることができる。従って、上部タブ及び下部タブに取り付けられるものに依じて、取り付け具の複数の組み合わせが可能である。

【0031】

上記から、本発明は、その構造体内に内在する他の利点と共に、上述した全ての目的及び目標と一緒に得るようにうまく適合したものであることが分かる。

20

【0032】

特定の特徴及び部分的組み合わせは、有用であり、他の特徴及び部分的組み合わせを参照せずに用い得ることが理解されるであろう。これは、特許請求の範囲により意図され、その範囲内に入る。

【0033】

本発明の範囲から逸脱することなく、本発明の多くの可能な実施形態を作製できるので、添付図面に示される本明細書で述べられる全事項は、限定の意味ではなく、例証として解釈されるべきであることを理解されたい。

30

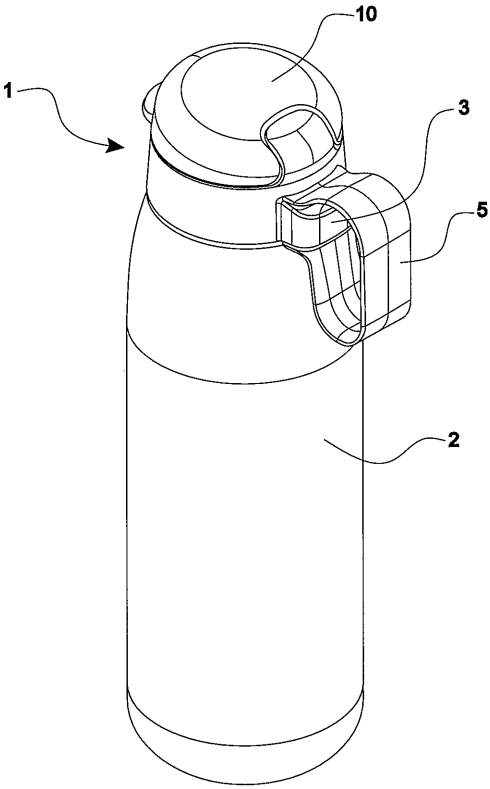
【符号の説明】

【0034】

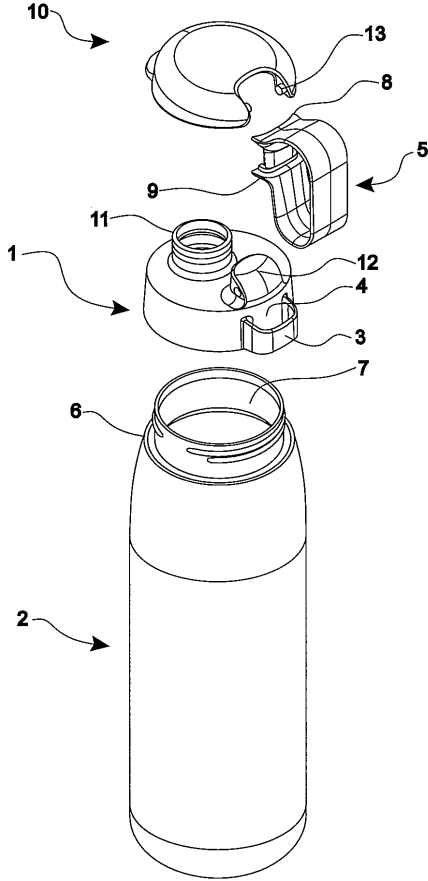
- 1：キャップ
- 2：ボトル
- 3：ブラケット
- 4：アパーチャ
- 5：タブ要素
- 5a、5b：端部
- 6：ねじ山
- 7：ネック部分
- 8、9、52、53：当たり面
- 10：カバー
- 11：注ぎ口
- 50、51：タブ
- 50a、51a：鋸歯面

40

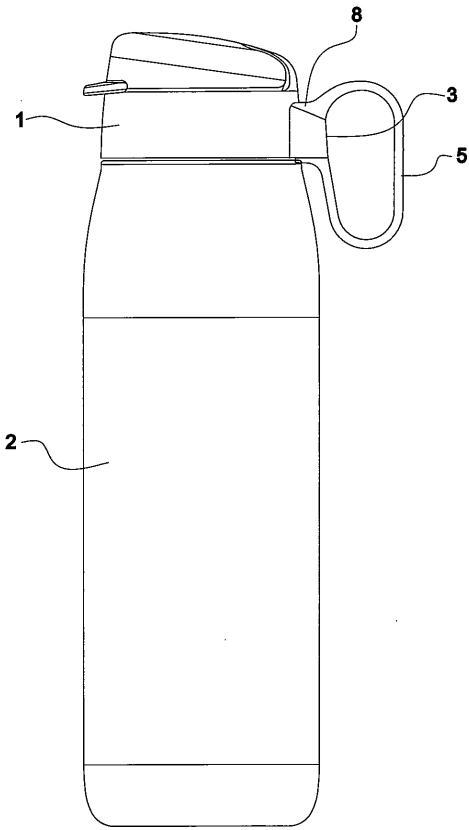
【図 1】



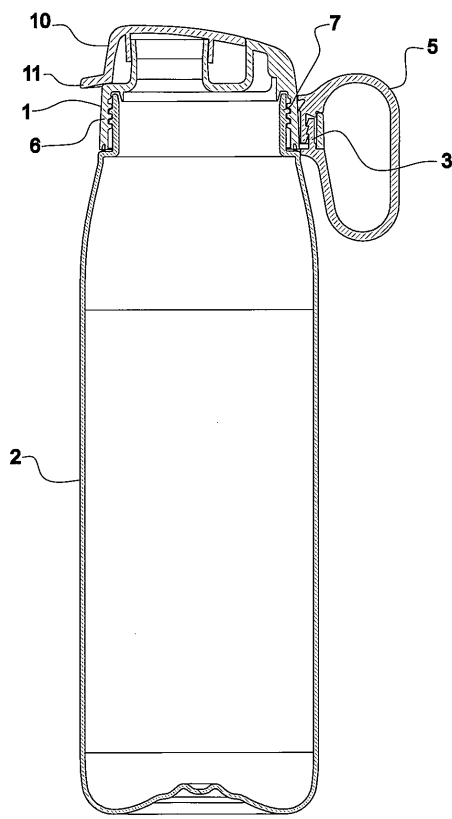
【図 2】



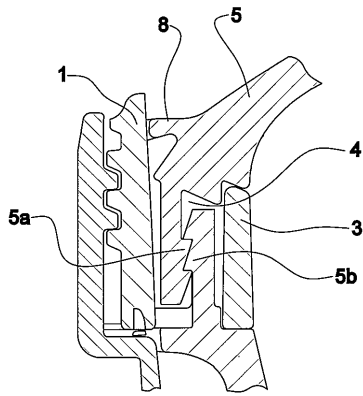
【図 3】



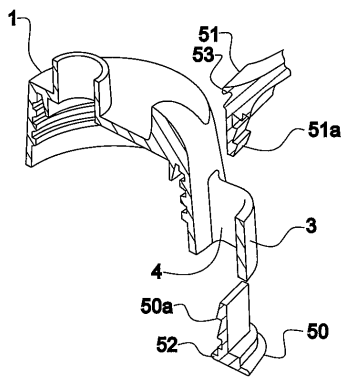
【図 4】



【図 5】



【図 6】



フロントページの続き

(74)代理人 100095898

弁理士 松下 満

(74)代理人 100098475

弁理士 倉澤 伊知郎

(72)発明者 ネイサン イー シャーリー

アメリカ合衆国 フロリダ州 3 2 8 3 7 オーランド サウス オレンジ ブロッソムトレイル
1 4 9 0 1

(72)発明者 ヘクター ジェイ バレア

アメリカ合衆国 フロリダ州 3 2 8 3 7 オーランド サウス オレンジ ブロッソムトレイル
1 4 9 0 1

(72)発明者 モニカ バスケス

アメリカ合衆国 フロリダ州 3 2 8 3 7 オーランド サウス オレンジ ブロッソムトレイル
1 4 9 0 1

(72)発明者 クリストファー ティー リーヴス

アメリカ合衆国 フロリダ州 3 2 8 3 7 オーランド サウス オレンジ ブロッソムトレイル
1 4 9 0 1

Fターム(参考) 3E062 AA09 AB02 AC02 HA02 HB02 HB07 HC03 HD27 KA04 KB05
KB17

3E084 AA02 AA12 AA24 AB01 BA03 CA01 CB02 DA01 DB12 FA06
FB01 GA01 GA06 GB01 GB06 JA19 JA20 KB01 LA18 LB02
LB07 LD01